



This is not someone else's problem. This is everyone's responsibility.

それは、「誰か」ではなく一人一人が  
意識を高めなければならない



## 被災者のために何か支援したい。

直接被災者のためにできることは限られているなか、私達Bond&Justiceは、被災地への物資支援を大震災の翌日には既に集めていました。代表者の大土雅宏は、被災者本人でもあります。被災地域の復興には、長期が見込まれることもあり、地元の人々への支援に対する熱意から、この活動はスタートしました。有志だけの組織ではありますが、代表者の長年の人間関係での強い絆で出来上がったネットワークで、現在、全国28か所の拠点に支援物資の倉庫拠点を確保。日々被災地への物資支援を行っています。災害から10日が経過している段階で、既に600人近くの賛同協力者と物資提供者がネットワークメンバーとして存在し、一日10トン近くの物資が集まっている状況です。

## 被災地に笑顔と温かい食べ物を。

私達Bond&Justiceは日本全国の数多くの方々々に協力して頂き震災後三週間の間で130トンの救援物資(食料、飲料、洋服、日常生活品等々)を被災地各地に送り届けております。そして震災後三週間以降は炊き出しにシフトして活動しております。多数の義援金を集める団体がありますが、自分たちの活動は被災者の今に目を向け被災者達にダイレクトに届くように“炊き出し”の為に募金を募らせて頂いております。一回の炊き出しで運搬材料の調達等含め多くの資金が必要になってきます。継続的にこの活動を続けていく為にも資金を集める必要があり皆様にご協力をお願いさせて頂いております。活動の内容、支援先、支援者の皆様の詳細はB&Jのホームページ <http://bond-and-justice.com> でご報告させて頂いております。



被災地では、避難所のリーダーや被災された方々と直接交流を通し、「今必要なもの」を的確に捉えて物資を調達・分配。



毎日のように全国にある物資保管倉庫に10トン近くの物資が集まっている。(現在28か所)



現在では全国から1,000人以上の賛同協力者が集まり、念入りに打ち合わせをし、被災地へ物資を運びます。

## 【私達の思い】

今回の災害は本当に広域に広がり大地震、津波、原子力発電所の爆発による放射能汚染、交通網の破壊と被害は甚大です。復興も一年や二年どころの話ではありません。向こう何年かかるでしょう。「……避難所からいつ出られるかも解らない。」「……仕事場が再開する見通しも立たない。」東北地方には多くの人が原発の生み出した経済の恩恵を受けていた事実もある。だが原発の被害は、農家や漁師のみならず、そこに住んでいた人々の復興にいったい何年かかるのか？簡単に戻れるはずがありません。長期的な支援が必要なのは明らかであり、その事実を胸に刻む為にも多くの「地獄」の中に笑顔があったり、少しでも多くの救援物資により人々が喜んでくれるなら、何度でも行かなければならない。そのために、我々は今も全国の有志から物資をかき集めております。全ての被災地の皆様にお悔やみを。今回の復興への道は社会のあり方を一から全て立て直すことです。「誰か」じゃなくて一人一人が意識を高めなければならないと実現は不可能です。再構築をするチャンスをもたらした自分達です。映画で見たかもしれないことが、今、これが現実です。ここ、日本で起こっていることなのです。ここから自分等が学び、世界に啓蒙していくことが我々の大きな役割であり、二度と同じ惨劇を繰り返さないためにも今我々のやるべきことがたくさんあります。もう戻れる日常はありません。新たな時代を迎える為には今この日本から世界に伝えていかなければならないのです。一人一人の人々を繋ぐ絆と義の気持ちりが社会を救う鍵となることを信じています。皆さんのお力をどうか私達にお貸しください。



東北関東大震災支援隊本部  
代表 大土雅宏 ~Masahiro Odo~

ボンド&ジャスティス ホームページ

<http://bond-and-justice.com>

